

いとう まさこ
伊藤 正子 議員



問 介護保険制度の現状について

答 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられる体制をつくる

介護保険制度も22年経過。家族頼みだった介護を社会全体で支えるべく施行され、多くの人に利用されてきた。3年ごとの制度改定や介護保険法の改正のたびにサービスの切り下げ、利用者負担増、介護保険料上昇が続いているが。

問 介護保険制度の該当人数と高齢化率は。施設・居宅サービス利用者数は。

健康福祉課長 令和5年2月1日現在で介護保険料を負担している40歳～64歳の方が2,781人、65歳以上の方が2,933人です。高齢化率は36.2%です。令和3年度の居宅サービス年間受給者数は延べ2,170人、施設介護サービス年間受給者数は延べ1,067人でした。

問 介護保険制度の改正と改定に対する町の対応と介護保険料について。

健康福祉課長 町においては、町の特性・実情を把握しながら国の制度改正に沿った取り組みを実施しています。介護予防に重点を置いた介護予防・日常生活支援事業が位

置づけられ、70歳以上の方を対象にチェックリストを送付し、何らかの支援を必要とする人を把握し、介護予防につなげ総合的に支援しています。町の介護保険料基準額は5,750円です。



問 介護サービスの内容、施設型・居宅型サービスの利用負担額について。

健康福祉課長 特別養護老人ホームは、原則要介護3以上の方が入所でき、令和3年度は月平均71名、年間延べ862名が利用しています。利用負担額は、施設の形態にもよりますが、月8万円から20万円位です。居宅サービスとして、通所介護(デイサービス)は、日常生活上の支援や機能訓練が日帰りで利用できます。要介護3の方が週3回利用した場合の利用負担額は、月2万5,000円程です。



問 介護保険制度の持続可能な取り組みについて。

町長 医療と介護が必要な状態になっても、住み慣れた「五霞町」で自分らしい暮らしを続けることができるよう「在宅医療・介護連携推進事業」を実施しており、人生の最期まで人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持って助け合いながら暮らしていける体制づくりを進めていきます。

高齢化率	五霞町	36.1%
	境町	29.9%
	八千代町	32.2%
	古河市	29.6%
	茨城県	30.6%

(令和5年1月1日現在)
※茨城県ホームページから抜粋